

(第3種郵便物認可)

きょうの天気



降水確率 朝 10% 高 21℃
 昼 10% 低 15℃
 晩 20%

気温

北の風日中南の風

(横浜予想)

あす
 県東
 県央
 県西

川崎支局 〒210-0006 川崎市川崎区砂子1-1-14
 JTビル川崎共同ビル5階 電話:044-222-1011
 FAX:044-245-9514 Eメール:kawasaki@tokyo-np.co.jp

横浜支局 〒231-0007
 横浜市中区弁天通4-52 ナインティー横浜ビル4階 046-822-0126
 電話:045-201-1151 FAX:045-201-1046

横須賀支局

麻生 044-966-8908
 中野 044-733-0750
 鎌倉 0467-45-6428
 小田原 0466-28-8359
 相模原 0465-32-1272
 厚木 042-752-3377
 046-222-4500

購読のお申し込み
 0120-026-999
 配達・集金お問い合わせ
 03-6910-2556
 広告のご用命
 044-245-5881



大学生に教えてもらいながら万華鏡作りに挑戦する子どもたち=中原区で

子どもたちの造形意識を高める教具「アートツール」を持って小学校や商業施設を訪問している横浜国立大学(横浜市保土ヶ谷区)の美術教育ゼミの学生ら十人が十二日、川崎市中原区の市民ミュージアムで「アートツール・キャラバン」を開いた。集まった子どもたちは、見て、触って、作って遊べるさまざまなアートツールに、笑い声を上げながら夢中になっていた。

(平木友見子)

展示空間に並べられたのは、水に落としたり絵の具の水中の動きを眺める水槽や、外側から触りながら二十四種類の中身を当てるゴム製の卵など十五の教具で、いずれも学生が開発した。色や形がユニークで、五感を使って遊べるのが特徴。「説明がなくても、触れたらすぐ遊びだせる」がコンセプトだという。真っ暗なテント内で、電球を覆った紙に

横国大生らキャラバン

「アートツール」子どもと触れ合い

まっついている。人口は五年に一度行われる国勢調査で出る。

川崎市の場合、二〇一〇年の国勢調査による人口は約百四十二万五千人。地方自治法の議員定数区分に当てはめると、上限は七二だ。では、なぜ現在六〇なのか? もともとの六三も、上限よりかなり少ないのはなぜか?

実は、川崎市の人口が、定数七二を上限としている人口区分「百二十万人以上、百七十万未満」になったのは〇五年の国勢調査からだ、それまでは、その下の「九十万人以上、百二十万人未満」の区分に属し、上限定数は六四だった。当時はぎりぎり

市議会定数の

市議の区ごとの定数

	改正前	改正後
川崎区	10	9
幸区	7	7
中原区	10	10
高津区	9	9
宮前区	10	9
多摩区	10	9
麻生区	7	7
計	63	60

〇五年に定数上限が六四から七二に増えたとき、定数を増やすことも検討されたが、見送られた。当時の市議会議長は「厳しい財政状況で、行革にも取り組んでおり、現状維持

定数が63から60に市民から見ると、多

千人鍋に舌鼓

行楽日和に恵まれた十二日、山北町中川のパーベキューセンターで、町最大級の行事「西丹沢みじ祭り」(町観光協会主催)が開かれた。地や横浜市などの県内ほか、東京都などから千ほどの行楽客が参加した。

祭りの中心は千人鍋。直径六十五センチの大鍋(一人分)百個が雑木の

針で穴を開け、光の絵をお気に入りだとを描くアートツールが、沢市の伊藤風風

震災報道とNIE

日本新聞協会が今年から定めた「NIE月間」(十一月)に合わせて、「東日本震災報道とNIE(新聞活用教育)」と題したシンポジウムが十二日、横浜市中区であり、報道を学校教育に入れた事例や改題を議論した。

新聞・通信八人者と県内の小中学生ら三人がパネリスト

定数上限が六四から七二に増やされた。定数を増やすことも見送られた。当時の「厳しい財政状況で、組んでおり、現状維持

幸区	7	7
中原区	10	10
高津区	9	9
宮前区	10	9
多摩区	10	9
麻生区	7	7
計	63	60

定数が63から60に減らされた。市民から見ると、多



針で穴を開け、光の絵 お気に入りだという藤(モ)は「きりきりして描くアートツールが 沢市の伊藤風風ちゃん いてすくすきれいで、

子どもたちは球形の万華鏡作りにも挑戦。このアートツールを開発した同大四年生の松永佳那子さん(モ)は「空き缶や貝など身近にあるものの色や形のきれいに、ツールを介して関心を持ってもらいたかった」という。「回したり、近づけたり、いろいろな見方を楽しんでほしい」と話した。

同ゼミは教員志望の大学生と大学院生で構成されており、大泉義一准教授は「キャラバンを通じて、学校の外にいる子どもたちを見たたり、保護者や関係者と関りすることで、

千人鍋に舌鼓

行楽日和に恵まれた十日、山北町中川のパーベキューセンターで、町最大級の行事「西丹沢もみじ祭り」(町観光協会主催)が開かれた。地元や横浜市などの県内のほか、東京都などから千人ほどの行楽客が参加した。

祭りの中心は千人鍋。直径六十五センチの大鍋(一人鍋十人分)百個が雑木の枝三本を組んだ三又につるされた。イノブタの肉百キロ、地元産のハクサイ六百キロや大根百十五キロ、ネギ九十五キロなど十種類の野菜が用意された。炭火でグツグツと煮える鍋をつつきながら酒を酌み交わすグループが多く、色づき始めた周辺のモミジを見ながら野趣豊かな味を楽しんでいた。(長崎磐雄)



色づき始めたモミジを見ながら鍋をつつく行楽客=山北町で

横濱市旭区市グループホーム「すずらん」前で先月十九日午後、タキ子さん(モ)の腹を蹴られるな重体になった傷で、旭署は十一日、さんが外傷性脳死したと発表。同署は傷害致死に切り替え、男

震災報道とNIE テーマにシンポ

日本新聞協会が今年から定めた「NIE月間」(十一月)に合わせて、「東日本大震災報道を議論した」

道とNIE(新聞活用教育)と題したシンポジウムが十二日、横

を務め、県NIE推進協議会長の高木まさき・横浜国立大教授が司会を務めた。

が出席し「風評被害に苦しむ農家を取材し、やりきれない思いだった」などと話した。

「被災地と関係のある子どももいるので、扱った記事を選ぶのに苦

報道各社の記者は、それぞれ携わった震災報道の内容や感想を報告。本紙からは茨城県

の被災状況や福島第一原発事故を取材した横濱支局の志村彰太記者

かわさきFM 79.1

〈13日〉

9.00 セレクトかわさき~担当:小西真由美▽セレクトトピックス▽セレクトインフォメーション他

10.00 VAMOS! 川崎フロンターレ・岩沢昌美 農といえるニッポン! ~植村春香

0.00 PUMPUP.PEEP~担当:鈴木司

7.00 ヤングナツメロ

10.00 ジャズ・スタンダード